

2022年度 事業報告

総務担当副会長：飯田 貞年

〔期間〕2021年9月1日～2022年8月31日

齋会再スタートから7年目の今年度は、コロナ禍3年目で感染拡大の波が周期的に繰り返される一年間でした。会員相互の親睦活動、青学古美研との交流と支援、古美術研究の啓発発展と、それぞれの目的に添って、役員をはじめとする会員の皆様のお知恵を借りながら、こうした状況下でも実施できる活動を行ってまいりました。以下のとおりご報告いたします。

1. 役員会・総会等の開催

- (1) 年間の事業計画(活動計画)や実施項目などは役員会において協議・決定しています。原則として年3回開催し、必要に応じて会長が臨時役員会を招集しています。今年度もコロナ禍の影響で5回開催のうち、2回がリモート開催となりました。なお議事録は齋会ホームページ(HP)に掲載しています。
- (2) 2021年9月23日に予定されていた大学同窓祭はコロナ禍によりオンライン開催となり、このため同日開催予定の齋会総会も青山キャンパスで行うことができず、前年に引き続き書面開催となりました。
議案は、①2021年度事業報告、②同年度収支決算報告ならびに監査報告、③役員改選で、いずれも原案通り承認されました。(議事録は齋会HPに掲載。)

<会議開催日>

| | | | | |
|-------|------|----------------|----------------|---------------------|
| ① 役員会 | (臨時) | 2021年 9月 5日(日) | 第1回 | 2021年 12月 5日(日) |
| | | 第2回 | 2022年 4月10日(日) | (臨時) 2022年 6月12日(日) |
| | | 第3回 | 2022年 8月 7日(日) | ※下線はリモート開催 |
| ② 総会 | | 2021年9月30日(木) | 書面開催 | ※開催日は返信はがき締切日 |

2. 会員相互の親睦活動

- (1) 毎年同窓祭会場で行っている親睦イベントは前年に引き続き実施できませんでしたが、2019年11月以降実施できなかった古美術を語ろう会(古美術鑑賞や史跡散策などの親睦会)は、感染拡大の波の合間を縫って2年半ぶりに実施することができました。下記具体的取組みを参照願います。
- (2) 齋会HPを活用して新鮮な情報を会員に提供しています。またHPの情報を整理して会報誌「齋会からのお知らせ」を年1回発行し郵送しています。今年度は9月に発行しました。
- (3) 毎年、齋会公式活動以外のイベント(各世代の親睦活動、OBサロンなど)への開催支援をしていますが、今年度もコロナ禍の影響でそれらが中止となり支援に至りませんでした。

<具体的取組み>

- ① 古美術を語ろう会：2022年4月16日(土) 都心の残影～私たちの知らない時代の東京巡り 参加23名(当日の様子は齋会HPに掲載。)
- ② HPによる情報の発信：年間38回発信(ほぼ10日に1回)
- ③ メールニュース【齋会通信】の発信：年間30回発信(ほぼ12日に1回)
- ④ 会報誌「齋会からのお知らせVol.7」を発行・送付(9月下旬)
- ⑤ 会員名簿のメンテナンス(役員4名で読合せ確認作業を3月22日(火)に実施)

3. 青学古美研との交流と支援活動

- (1) コロナ禍3年目となる今年度は、大学の対面授業が前年より拡大されるなど現役生の活動に多少の好転があったものの、依然正常なクラブ活動が行えない状況が続いていました。このため毎年行っている交流活動(青山祭、追出しコンパ等への参加など)は実施できませんでした。
- (2) 古美研役員/齋会役員の意見交換会は10月17日(日)にリモートにより、6月7日(火)に対面により実施しました。大学生活が制限される中、オンラインでの入会募集、展覧会見学など工夫をしながらクラブ活動を継続している様子が伺えました。詳細はHPに掲載しています。
- (3) 現役活動支援金は、活動の現状・現役役員の意向を踏まえ、今年度は支出しませんでした。